

「道徳性・向社会性」分科会 2024 年度活動報告

「道徳性・向社会性」分科会代表

東北大学 長谷川真里

活動報告

日本発達心理学会第 36 回大会においてシンポジウムを企画した。

シンポジウムタイトル：「道徳感情研究の最前線」

日時：2025 年 3 月 4 日 9：30 ～11：30

企画主旨：

道徳感情は、道徳的な状況に対する自己評価的な、自己意識的または他者志向的感情と定義されてきた。道徳感情は近年、哲学、神経科学、経済学、遺伝学、社会学など、さまざまな分野で注目を集めている。ただし、分野によっては道徳感情という用語が使用されるとは限らず、定義にも微妙な差異がある。自己理解と自己評価によって誘発されるため、自己意識的感情または自己評価的感情とよばれることもある。進化的な議論も活発になり、社会的感情という表現もあるだろう。なお、感情の発達理論において感情が生得的に備わっているとする立場と社会構成主義の立場があるように、道徳性発達の領域においても、道徳感情の理論に対立がある。本 RT では、さまざまな理論的立場の方から最新の研究知見をご報告いただき、道徳感情研究の最前線の議論を共有する。

企画：道徳性・向社会性分科会

企画：長谷川 真里（東北大学大学院教育学研究科）

企画・司会：越中 康治（宮城教育大学大学院教育学研究科）

話題提供①：小國 龍治（立命館大学総合心理学部）

話題提供②：蔵永 瞳（滋賀大学教育学部）

話題提供③：武藤 世良（お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系）

→【変更】越中 康治（宮城教育大学大学院教育学研究科）

指定討論：芝崎 美和（新見公立大学健康科学部）

※武藤世良先生ご欠席のため、話題提供③の担当者に変更がありました。

以上